

## 8 健常人におけるクロレラ・ブルガリスE-25の安全性

○姉崎 健<sup>1)</sup>、西川三喜男<sup>1)</sup>、藤井喜一郎<sup>2)</sup>

1) 浜松医科大学医学部附属病院薬剤部

2) 岐阜アグリフーズ(株)

【目的】 クロレラは単細胞植物で各種栄養素がバランス良く含まれているほか多様な生理活性物質の存在が報告されている。しかし、細胞壁が強固で消化が悪い。

今回、演者らは1973年大垣らによって発見されたクロレラ・ブルガリスE-25 (E-25)、即ち細胞壁に $\alpha$ セルロースをほとんど含まない消化性の高い従属栄養性クロレラの健常人における安全性を検討した。

【方法】 1. 被験者: 健康成人男子志願者6名。本試験実施に当たり、試験に関する説明を行い、試験参加について同意を得た。

2. 被験物: E-25は1包に1.05gを含有する顆粒剤を使用した。3. 投与方法および投与量 1) Step-1: 1回1包を1日3回食後に服用させ、投与期間は7日間とした。2) Step-2: Step-1終了後、1日おいてから、1回2包を1日3回服用させ、投与期間は7日間とした。4. 試験方法: 試験スケジュールに従い実施し、検査項目は一般症状: 体重, 血圧, 心拍数, 体温、血液学的検査: RBC, WBC, Hb, Ht, 血小板、血液生化学的検査: GOT, GPT, ALP, LDH, CPK, BUN, Cr, UA, TG, TP, 総ビリルビン、血糖、血清電解質: Na, K, Cl, Ca, P および尿検査: pH, 蛋白, 糖, ウロビリノーゲンは第1日目, 第9日目の薬剤投与前と最終投与翌日に検査した。

【成績】 E-25投与により、1例においてCPKの上昇が見られたがこれは、運動に起因するものであり、E-25との関連はないと思われた。その他の検討した全ての項目において大きな変動が認められなかった。

【結論・考察】 健常人においてクロレラ・ブルガリスE-25の安全性を検討した結果、安全性の高いことが示唆された。

E-25は脳卒中易発症性高血圧自然発症ラットにおいても血圧上昇抑制, 延命効果, 動脈壁構造の正常化, 等が認められている。さらには糖尿病の改善、抗腫瘍作用、アトピー性皮膚炎、放射線障害に対する効果等も認められており、その作用機序の一つとして活性酸素の抑制等が考えられ、今後の研究に期待したい。